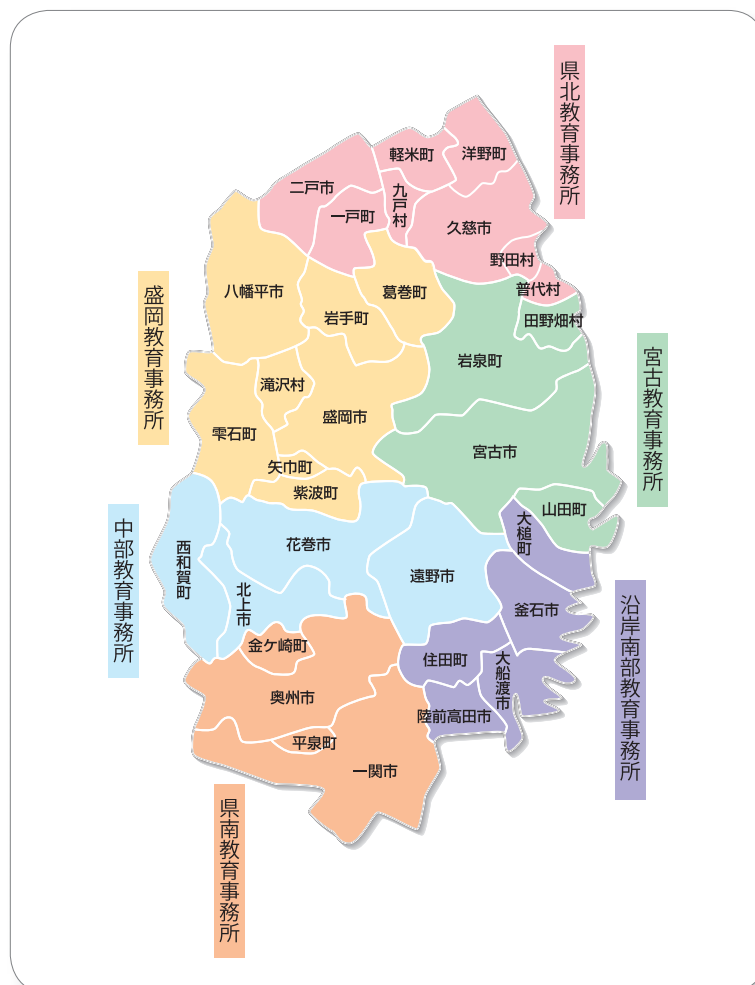


# 県内市町村と管轄する6教育事務所



\*本記録誌を編集するに当たり、平成23年度に文部科学省が実施した「東日本大震災における学校等の対応等に関する調査」（平成24年1月実施）と、平成24年度に岩手県教育委員会が実施した「東日本大震災津波に係る学校等の対応に関する調査」（平成24年6月実施）及び「東日本大震災津波における市町村教育委員会の対応に関する調査」（平成24年7月実施）を資料として作成した掲載内容がある。

「東日本大震災における学校等の対応等に関する調査」は、被災3県（岩手・宮城・福島）の国公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校を対象に実施された。

「東日本大震災津波に係る学校等の対応に関する調査」は、震災津波発生後における本県の学校の対応等を把握し、今後の危機管理等に生かすため、県内の公立学校（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）638校を対象に実施し、636校が回答したものである。

「東日本大震災津波における市町村教育委員会の対応に関する調査」は、震災津波による被害状況及び災害応急対応の取組や、復旧・復興に向けた取組などについて、県内33市町村教育委員会（内陸21市町村、沿岸12市町村）を対象に実施したものである。

調査集計において、沿岸部とは下記12市町村にあたり、沿岸市町村の学校の中には海岸線から遠隔地に所在しているものも含まれている。

大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村、久慈市、洋野町、普代村、野田村

\*平成23年9月26日藤沢町は、一関市に編入合併した。よって合併前の事象に対する掲載内容については「藤沢町」と表記する。

\*本文中において、「避難所」とは予め市町村が策定する地域防災計画で避難所指定されていた施設のことを指し、「避難場所」とは避難所を含め、住民が避難した施設のことを指す。

岩手県教育委員会  
東日本大震災津波記録誌  
『教訓を後世に岩手の教育』

# 1章

## 東日本大震災津波による 被害状況

- 1 震災津波の概要及び県内の被害状況
- 2 教育関係の被害状況

# 1章

岩手県教育委員会東日本大震災津波記録誌  
〈教訓を後世に岩手の教育〉

## 東日本大震災津波による被害状況

### 1

#### 震災津波の概要 及び県内の被害状況

##### (1) 地震の概要

平成23年3月11日(金)、三陸沖を震源とする国内観測史上最大規模となるマグニチュード9.0の巨大地震「東北地方太平洋沖地震」が発生した。最大震度は宮城県栗原市で震度7、岩手県内では一関市、矢巾町、釜石市、大船渡市、滝沢村、藤沢町、花巻市、奥州市で震度6弱、各地で震度4以上の強い揺れを観測した。

この地震に伴い発生した大津波は、大船渡市で8m以上、宮古市で8.5m以上を記録し、防波堤や防潮堤を越えて沿岸部を襲い、陸前高田市をはじめ各地域が壊滅的な被害に見舞われた。

また、その後も断続的な余震が発生し、平成23年4月7日(木)に発生した宮城県沖を震源とする余震ではマグニチュード7.2を記録。大船渡市、釜石市、矢巾町、一関市、平泉町、奥州市で震度6弱の本震に匹敵する大きな揺れを観測し、更なる被害をもたらした。

##### ■地震の概要

地震名	平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震	
発生日時	平成23年3月11日(金)14時46分	
発生場所	三陸沖(北緯38度06.2分、東経142度51.6分、深さ24km)	
規模	9.0(モーメントマグニチュード)	
県内の最大震度	6弱(一関市、矢巾町、釜石市、大船渡市、滝沢村、藤沢町、花巻市、奥州市)	
津波の高さ	宮古 8.5m以上 大船渡 8.0m以上 釜石 4.2m以上 久慈港 8.6m(推定)	
余震の状況	M7.0以上 6回 M6.0以上 99回 M5.0以上 642回 最大震度4以上を観測した余震 260回 (平成24年3月11日まで)	
	宮城県沖を震源とする余震	
	発生日時	平成23年4月7日 23時32分
	震源	宮城県沖(北緯38度12.2分、東経141度55.2分、深さ66km)
	規模	マグニチュード7.2
県内の最大震度	6弱(大船渡市、釜石市、矢巾町、一関市、平泉町、奥州市)	

(気象庁発表資料※より作成)

## (2) 県内の被害状況

今回の震災津波により、沿岸南部（陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、宮古市）を中心に4,671人の方が亡くなり、1,218人が未だ行方不明となっている。全半壊した被害家屋数は、沿岸22,766棟、内陸1,794棟の計24,560棟と大きな被害となった。また、県の産業被害は6,078億円におよび、特に水産業・漁港の被害が甚大であるうえ、福島第一原子力発電所の事故に伴う風評被害による影響も続いている。さらに公共土木施設被害は2,752箇所、額にして2,573億円である。停電、ガス供給停止、断水、電話不通などライフライン被害が県全域にわたり発生し、そのうえ交通網の寸断、ガソリン供給不足も重なり、復旧の遅れと生活の混乱を招いた。

### ■人的被害

平成24年11月30日現在

種別	沿岸	内陸	合計
死者(人)	4,671	0	4,671
行方不明者(人)	1,169	4	1,173
うち、死亡届の受理件数(件)	1,123	4	1,127
負傷者(人) ※把握していない市町村がある	71	135	206

上記には、平成23年4月7日の余震の被害も含めている。  
(県総合防災室資料より)

### ■家屋被害

平成24年6月13日現在 (棟)

	沿岸	内陸	合計
家屋倒壊数	22,766	1,794	24,560

平成23年4月7日の余震の被害も含めている。  
家屋倒壊数は住家のみの全壊と半壊を合わせた数である。  
(県総合防災室資料より)

### ■産業被害

平成23年7月25日現在 (億円)

農業被害	林業被害	水産業・漁港被害	工業(製造業)被害	商業(小売・卸売業)被害	観光業(宿泊施設)被害	合計
589	250	3,587	890	445	326	6,087
農地・農業用施設544、農業施設28等	林業施設199、森林37等	漁港2,782、漁船234、養殖施設132、水産施設等219等	津波による流出・浸水被害の推定額であり、地震による被害は含めていない。			

(県農林水産部資料より)

### ■公共土木施設被害

平成23年7月25日現在 (億円)

河川・海岸・道路等施設整備	都市・公園施設	港湾施設	合計
1,723	405	445	2,573
海岸1,289、道路252、河川147等	下水道施設306、公園99		

(県県土整備部資料より)

### ■ライフライン被害

種別	被害戸数等	全戸復旧	備考
停電	76万戸	5月28日	
ガス供給停止	9.4千戸	4月26日	家屋倒壊等が確認された箇所を除く。
断水	18万戸	7月12日	
電話不通	6.6万回線	4月17日	加入者宅と通信ビル間の回線切断等により、利用できない場合を含む。

(県災害対策本部資料より)

※「気象庁 東日本大震災～東北地方太平洋沖地震～関連ポータルサイト」  
(平成24年3月11日) <http://www.jma.go.jp/jma/menu/jishin-portal.html>

## 被災状況



洋野町/洋野町提供



田野畑村/田野畑村提供



久慈市/久慈市提供



野田村/野田村提供



普代村/普代村提供



陸前高田市(平成23年3月11日)/陸前高田市教育委員会提供



大槌町/県立総合教育センター提供



釜石市



岩泉町/岩泉町提供



宮古市(平成23年3月12日)/宮古市教育委員会提供



大船渡市/大船渡市立未崎中学校提供



山田町  
県立山田高等学校提供

1 震災津波の概要及び県内の被害状況

1章

東日本大震災津波による被害状況

## 2

## 教育関係の被害状況

## (1) 人的被害状況

## 死者・行方不明者

巨大津波により沿岸部では多くの犠牲者が出た。特に市街地全域が壊滅的被害を受けた陸前高田市の人的被害が大きい。岩手県全体で公立及び私立を合わせて幼児児童生徒の死亡は90人、行方不明は15人で、校種別では高校生の犠牲者が最も多かった。地震発生時に児童生徒が在籍していた学校は全体の8割以上であり、学校等の管理下にあった幼児児童生徒の多くは無事であったが、犠牲となった幼児児童生徒は下校中や避難中あるいは在宅中に津波に巻き込まれたものと推察される。

また、公立及び私立学校等の教職員の人的被害は死亡8人、行方不明4人であり、市町村教育委員会職員の犠牲者数は死亡45人、行方不明4人。教育長をはじめ、事務局職員63人中44人が死亡・行方不明の陸前高田市教育委員会など、一時的に教育行政が機能しなくなった市町村教育委員会もあった。

なお、内陸部市町村の死亡・行方不明者は、沿岸部において津波の犠牲になったものである。

## ■ 公立学校の幼児児童生徒の人的被害

平成24年3月31日現在 (人)

市町村名	幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	死亡	行方不明	死亡	行方不明	死亡	行方不明	死亡	行方不明	死亡	行方不明	死亡	行方不明
奥州市							1				1	0
大船渡市			1				7		2		10	0
陸前高田市			7	1	11		19	3			37	4
住田町							1				1	0
釜石市	2	1	3		2		3	2			10	3
大槌町			3		2		3	3			8	3
宮古市			1	2			6	1			7	3
山田町			2	1			2				4	1
久慈市									1		1	0
野田村							1				1	0
合計	2	1	17	4	15	0	43	9	3	0	80	14

## ■ 公立学校等の教職員の人的被害

平成24年3月31日現在 (人)

市町村名	幼稚園		小学校		高等学校		社会体育施設		合計	
	死亡	行方不明	死亡	行方不明	死亡	行方不明	死亡	行方不明	死亡	行方不明
遠野市				1					0	1
陸前高田市						1	1		1	1
釜石市	3	1		1					3	2
宮古市			1						1	0
野田村					1				1	0
合計	3	1	1	2	1	1	1	0	6	4

■私立幼稚園の人的被害 平成24年3月31日現在 (人)

市町村名	園児		教職員	
	死亡	行方不明	死亡	行方不明
一関市	1			
陸前高田市	6			
大槌町	2	1		
宮古市	1		1	
山田町			1	
合計	10	1	2	0

■市町村教育委員会事務局職員等の人的被害  
平成24年3月31日現在 (人)

市町村名	死亡	行方不明
陸前高田市	41	3
釜石町	3	1
山田町	1	
合計	45	4

職員数には事務局職員のほか、教育機関に勤務する職員、非常勤職員を含む。

児童生徒の転出入の状況

平成24年5月1日までに、県内から県外へ転出した幼児児童生徒は360人にのぼった。

家族や住居の被災により転居を余儀なくされたり、東京電力福島第一原発事故後の放射能被害への不安から一時的に転居した児童生徒も少なくない。県内沿岸地域から内陸地域への移動など県内での転入が787人、県外から県内への転入が263人あった。

■震災津波に起因する児童・生徒等の転校(園) (人)

	県内→県外	県内→県内	県外→県内
幼稚園	46	103	60
小学校	190	484	137
中学校	74	135	46
高等学校	50	63	19
特別支援学校		2	1
計	360	787	263

私立学校を含む。

被災孤児・遺児の状況

平成24年3月28日現在、被災により親を亡くした幼児児童生徒は575人にのぼり、就学をはじめとする子どもたちそれぞれのケースに応じた長期的かつ継続的な支援が必要である。

■被災孤児・遺児数 (人)

種別	沿岸部	内陸部	合計
被災孤児	92	2	94
被災遺児	461	20	481
合計	553	22	575

(県保健福祉部児童家庭課資料より)

■校種別 被災孤児・遺児数 (人)

種別	被災孤児	被災遺児	合計
未就学(0~5歳)	3	65	68
小学校(6~11歳)	27	146	173
中学校(12~14歳)	30	102	132
高校(15~17歳)	27	130	157
高卒(18~19歳)	7	38	45
合計	94	481	575

孤児は両親とも死亡・行方不明、または一人親だったが死亡・行方不明となった子ども、遺児は両親のいずれかが死亡・行方不明となった子ども(対象年齢は0歳から19歳未満)



## (2) 物的被害状況

今回の東日本大震災津波では、沿岸市町村の臨海部や河川沿いに位置する教育施設は津波により全壊・流失する壊滅的な被害を受けた。内陸部の被害規模は比較的小さかったものの、4月7日に発生した余震により県南市町村で建物の損壊等被害が拡大した。また、文化財にも流出、水損・破損等の被害が確認された。

【教育施設等の被害状況は P230 に掲載】



県立宮古工業高等学校の玄関前・校庭(平成23年3月13日)

### 学校等施設の被害

#### ● 県立学校施設

平成24年3月末現在における東日本大震災津波により被害を受けた県立学校は83施設中73施設にのぼり、被害金額の総計は17億円余であった。

#### ● 市町村立学校施設

平成24年3月末現在における各市町村教育委員会の取りまとめによると、被害を受けた学校施設は29市町村374施設にのぼり、内訳は小学校215校、中学校114校、幼稚園33園、学校給食共同調理場12施設、被害金額の総計は183億円余となっている。

なお、校舎、体育館、園舎及び学校敷地等が津波により被害を受けた学校施設は、小学校24校、中学校10校、幼稚園1園、学校給食共同調理場1施設、合計36施設であった。



県立宮古高等学校のヨット部室棟(平成23年3月17日)同校提供

### ■ 学校施設の施設別被害状況

平成24年3月31日現在 (千円)

設置者区分	施設区分	施設数	被害施設数	被害額
県立学校施設	中学校	1	1	1,500
	高等学校	68	60	1,690,399
	特別支援学校	14	12	19,626
	計	83	73	1,711,525
市町村立学校施設	小学校	392	215	11,392,145
	中学校	189	114	6,640,929
	幼稚園	60	33	211,571
	学校給食共同調理場	69	12	65,295
	計	710	374	18,309,940
合計		793	447	20,021,465



県立高田高等学校の校舎・校庭(平成23年3月16日)  
同校提供

2 教育関係の被害状況

1章

東日本大震災津波による被害状況



津波により川岸に打ち上げられた県共同実習船「翔洋」(宮城県東松島市／平成23年4月3日)  
県立宮古水産高等学校提供



県立一関第一高等学校の校舎  
同校提供



盛岡市立厨川中学校の校舎内部  
盛岡市教育委員会提供



大船渡市立赤崎中学校の体育館(平成23年5月30日)



藤沢町立藤沢小学校の校舎内部(平成23年3月12日)  
一関市教育委員会提供



大津波が押し寄せた直後の陸前高田市立気仙小学校。  
奥に見えるのは陸前高田市立気仙中学校(平成23年3月11日)  
陸前高田市教育委員会提供



藤沢町立藤沢中学校のグラウンド(平成23年3月14日)  
一関市教育委員会提供



釜石市立鶴住居幼稚園の園舎(平成23年5月25日)



釜石市立鷺住居小学校の校舎(平成23年5月25日)



宮古市立田老第一中学校の校庭  
宮古市提供



大槌町立大槌小学校の校舎(平成23年6月8日)  
県立総合教育センター提供



山田町立船越小学校の校舎内部(平成23年3月18日)  
山田町教育委員会提供



大槌町立大槌中学校の校庭(平成23年3月13日)  
県立総合教育センター提供



岩泉町立小本中学校の水泳プール(平成23年5月24日)

■学校施設の主な被害

(千円)

設置者名	学校名	被害額	主な被害
岩手県	一関第一高等学校	32,196	地震により校舎大講義室天井等破損、体育館外壁材破損等
	高田高等学校	752,720	津波により校舎3階まで浸水、第一体育館等の施設が全壊又は流失等
	山田高等学校	28,069	津波により競技用ボート艇庫が大破及び競技用ボートが流失等
	宮古高等学校	101,133	津波によりヨット部部室が大破、高浜教職員住宅1階まで浸水等
	宮古工業高等学校	499,588	津波により校舎1階及び体育館等が浸水等
	宮古水産高等学校	42,974	津波により山田実習棟が大破及び小型船舶が流失、実習船「翔洋」が東松島市で座礁等
	久慈東高等学校	37,087	津波により艇庫、漁具庫、小型船舶及び実習船等が流失等
一関市	中里小学校	325,989	体育館：脚柱基礎部分にせん断多数、アンカーボルト破断。外壁・天井落下等（半壊相当）
大船渡市	赤崎小学校	1,584,000	津波により校舎2階天井高まで浸水し、構造部以外は大破。体育館も校舎と同様の被害。プールはがれき・土砂に埋没。
	越喜来小学校	1,071,000	津波により校舎3階まで全て浸水し、構造部以外は大破。体育館も校舎と同様の被害。プールはがれき・土砂に埋没。
	赤崎中学校	1,059,000	津波により校舎2階床上2.5m程度まで浸水し、構造部以外は大破。体育館は床上2m程度の浸水。プールはがれき・土砂に埋没。
陸前高田市	気仙小学校	685,579	津波により校舎3階まで全て浸水し、構造部以外は大破。体育館は火災により全焼。プールはがれき・土砂に埋没。
	気仙中学校	633,371	津波により校舎3階まで全て浸水し、構造部以外は大破。体育館も校舎と同様の被害。
	小友中学校	519,703	津波により校舎2階床上0.5m程度まで浸水し、構造部以外は大破。体育館も校舎と同様の被害。
金石市	鶴住居小学校	1,479,961	津波により校舎3階まで全て浸水し、構造部以外は大破。体育館は基礎部を残し倒壊。プールはがれき・土砂に埋没。
	唐丹小学校	955,483	津波により校舎3階まで全て浸水し、構造部以外は大破。体育館も同様の浸水を受け半壊相当。プールはがれき・土砂に埋没。
	釜石東中学校	1,346,668	津波により校舎3階まで全て浸水し、構造部以外は大破。体育館は基礎部を残し倒壊。
	鶴住居幼稚園	189,370	津波により園舎2階まで全て浸水し、構造部以外は大破。
大槌町	大槌小学校	897,640	津波により校舎1階部分が全て浸水し、構造部以外は大破。2、3階の内部は火災により焼失。体育館も校舎と同様の浸水被害。
	赤浜小学校	309,471	津波により校舎2階床上1m程度まで浸水し、構造部以外は大破。（鉄骨造の棟）木造校舎は倒壊の恐れ。体育館は床上1m程度浸水。
	大槌北小学校	682,959	津波により校舎1階部分が全て浸水し、構造部以外は大破。体育館も校舎と同様の被害。プールにがれき・土砂堆積。
	大槌中学校	1,049,006	津波により校舎1階部分は全て浸水し、構造部以外は大破。校舎1階は火災により各所が焼失。体育館も校舎と同様の浸水被害。
宮古市	鶴磯小学校	49,571	津波により校舎1階床上1.8m程度まで浸水し、構造部以外は大破。教員住宅2棟流失、1棟全壊。
	千鷲小学校	58,927	津波により校舎2階床上まで浸水し、構造部以外は大破。
山田町	船越小学校	1,370,000	津波により校舎2階床上0.3m程度まで浸水し、構造部以外は大破。体育館は床上4m程度まで浸水し、構造部以外は大破。プールはがれき土砂に埋没。教員住宅3棟流失。
岩泉町	小本中学校	574,055	津波により校舎1階天井高まで浸水し、構造部以外は大破。プールの上屋はほぼ全壊、プールにはがれき・土砂堆積。教員住宅3棟流失。

## 文化芸術施設の被害

県内の公立文化施設30施設中16施設が被害を受けた。

内陸部では、照明器具やガラスの破損程度と被害が小さかった施設や、天井の全部崩落、壁面ボードの亀裂・剥離、舞台装置の破損等、被害が大きかった施設もあり、所在地や地形により被害の大きさに差があった。

津波被害等の大きかった沿岸部では、釜石市民文化会館（半壊・浸水、被害額約43億5千万円）、宮古市民文化会館（半壊・浸水、被害額約12億円）、陸前高田市民会館（全壊・流出、被害額約9億円）等、地域の文化拠点としての施設が軒並み壊滅的な被害を受けた。

【各施設の被害状況はP250に掲載】



全壊した陸前高田市民会館  
岩手県中学校長会提供

### 文化芸術施設の設置者別被害状況一覧 平成24年3月末現在

設置者	施設数	被害施設数	被害額(千円)	主な被害状況
岩手県	1	1	1,256	ホール天井、空調金具破損、照明器具破損
盛岡市	4	1	6,689	ホール天板ガイドレール破損等
栗石町	1	0		
滝沢村	1	0		
矢巾町	1	1	2,772	照明、外壁、空調破損、外構亀裂等
花巻市	2	1	238	ホール天井剥落、エントランス天井亀裂等
遠野市	1	1	1,417	柱・梁・外壁・内壁クラック、ガラス破損
北上市	1	1	37,597	天井、照明設備、内壁外壁の損傷等
西和賀町	1	0		
奥州市	4	4	65,102	ボイラー破損、ホール天井ボード落下、舞台装置破損等
一関市	2	2	12,131	ホール天井ボード落下、舞台装置破損、駐車場亀裂等
大船渡市	1	1	9,492	ホール壁面ボード落下、照明落下、舞台装置破損等
陸前高田市	1	1	909,980	全壊流失
釜石市	1	1	4,350,000	半壊、1階及び地下施設浸水・破損等
宮古市	1	1	1,200,000	半壊、1階及び地下施設浸水・破損等
山田町	1	0		
久慈市	2	0		
洋野町	1	0		
二戸市	2	0		
一戸町	1	0		
計	30	16	6,596,674	



釜石市民文化会館の施設内部(平成23年9月13日)  
釜石市教育委員会提供



宮古市民文化会館の施設内部(平成23年9月13日)  
宮古市教育委員会提供



胆沢文化創造センターのホール客席  
(平成23年4月22日)  
奥州市教育委員会提供

## 社会教育施設の被害

県内の社会教育施設 654 施設中 174 施設が被害を受けた。

内陸部の施設は、換気扇脱落、ガラスの破損程度と被害が小さかった施設や、天井の全部崩落、壁亀裂・剥離、給水管の破損等、被害が大きかった施設もあった。

沿岸部での地震による被害は内陸部同様に施設によって被害の大きさに差があったが、低地にあった施設のほとんどは、津波による建物全壊など、壊滅的な被害を受けた。

県立の社会教育施設のうち、山田町の県立陸中海岸青少年の家は、高台にあったために大きな被害を受けなかったが、二戸市の県立県北青少年の家は配管等の損傷、花巻市の県立生涯学習推進センターは玄関施設、外構、備品等が被害を受けた。

また、市町村の施設として、陸前高田市では中央公民館ほか4公民館や市立図書館、市立博物館が全壊、大槌町では大槌町公民館安渡分館ほか2分館、町立図書館や集会所等が全壊、宮古市では鉾ヶ崎公民館ほか1公民館が全壊、久慈市では久慈地下水族科学館が全壊した。

【各施設の被害状況は P251 に掲載】



全壊した陸前高田市立中央公民館(平成23年3月27日)  
陸前高田市教育委員会提供



全壊した陸前高田市立図書館(平成23年3月30日)  
陸前高田市教育委員会提供



全壊した久慈地下水族科学館(平成23年3月14日)  
久慈市提供

半壊した山田町立鯨と海の科学館(平成24年4月23日)  
山田町教育委員会提供



■社会教育施設の設置者別被害状況一覧

平成 24 年 3 月末現在

設置者	施設数	被害施設数	被害額（千円）	主な被害の状況
岩手県	7	3	7,477	配管等損傷、展示室天井・壁損傷
盛岡市	34	11	31,196	屋根瓦修繕、収蔵庫剥がれ落ち及び亀裂等修繕、外壁亀裂等
八幡平市	33	0	0	
雫石町	10	0	0	
葛巻町	6	0	0	
岩手町	10	0	0	
滝沢村	5	1	2,300	天井亀裂、給水管漏水
紫波町	11	2	355	照明器具破損、煙突破損、内壁剥落
矢巾町	2	2	10,579	空調用自動制御機器・自家発電設備故障及び外構亀裂沈下等
花巻市	50	11	36,353	内壁破損、天井材剥離、渡り廊下床隙間、廊下外壁亀裂等
遠野市	21	1	186	柱・はり・壁・床クラック、ガラス破損、天井材落下等
北上市	28	15	63,480	空調機、温水器及びフェンス破損、天井・亀・柱等の崩落等
西和賀町	54	0	0	
奥州市	79	29	77,720	内外壁等破損、体育館窓破損、シャッター破損等
金ヶ崎町	12	4	995	内・外壁亀裂、非常放送設備破損、天井一部落下等
一関市	70	42	171,808	浄化槽破損、天井落下、空調設備配管破損、ブレース曲損等
平泉町	8	4	2,089	柱亀裂、外壁破損剥落、ガラス破損、プロジェクター破損等
大船渡市	16	3	597,150	大規模半壊、がれき・土砂流入、建具・設備等全損等
陸前高田市	17	7	1,522,900	建物全壊、土地被害、建具・家具・備品等破損
住田町	7	0	0	
釜石市	20	13	424,374	建物全壊、外壁タイル剥落、石垣崩落、ガラス破損等
大槌町	21	11	1,031,144	建物全壊、床上浸水等
宮古市	23	7	419,288	建物全壊・半壊、床上浸水、がれき・土砂流入等
山田町	27	6	826,593	建物流失、床上浸水、がれき・土砂流入等
岩泉町	5	0	0	
田野畑村	3	0	0	
久慈市	16	1	473,124	建物全壊、水族科学館設備等破損
洋野町	14	0	0	
普代村	1	0	0	
野田村	4	1	73,062	床上浸水、内外壁及び建具破損、備品流失、図書被災等
二戸市	22	0	0	
軽米町	7	0	0	
九戸村	3	0	0	
一戸町	8	0	0	
計	654	174	5,772,173	

市民会館、ホールは文化芸術施設の被害に掲載。



## 社会体育施設の被害

県内の社会体育施設 1,030 施設中 146 施設が被害を受けた。

内陸部の施設は、ガラスの破損程度と被害が小さかった施設があった一方、屋根・天井の亀裂、鉄骨の変形、天井材や壁材の落下等、被害が大きかった施設もあり、所在地や周辺の地盤等により、被害の大きさに差があった。

一方、沿岸部では地震による被害は内陸部同様、施設によって被害の大きさに差があったほか、低地にあった施設の多くは津波により壊滅的な被害を受けた。

県営体育施設では、陸前高田市の県立高田松原野外活動センターが津波により管理棟最上階まで浸水、全壊した。

また、市町村営体育施設をみると、陸前高田市では市民体育館や高田松原野球場など7施設が全壊、大槌町ではB&G海洋センターなど3施設が全壊、宮古市では運動公園やリアスハーバー宮古など6施設が全壊した。

【各施設の被害状況は P257 に掲載】



全壊した県立高田松原野外活動センター(平成23年3月19日)



大津波からおよそ5カ月後の陸前高田市高田松原野球場(平成23年8月2日)



リアスハーバー宮古の艇庫(平成23年3月17日)  
県立宮古高等学校提供



全壊した陸前高田市民体育館(平成24年4月18日)



全壊したB&G海洋センター  
大槌町提供

■社会体育施設の設置者別被害状況一覧

平成 24 年3月末現在

設置者	施設数	被害施設数	被害額（千円）	主な被害の状況
岩手県	8	4	1,894,009	津波により全壊等
盛岡市	85	8	150,811	天井材や軒天の落下、床や壁に亀裂
八幡平市	41	0	0	
雫石町	17	3	5,882	照明器具破損、エキスパンション・ジョイント破損
葛巻町	13	0	0	
岩手町	17	0	0	
滝沢村	21	0	0	
紫波町	10	2	1,863	天井材落下、ドレン配管破損、照明器具等破損
矢巾町	15	1	2,156	暖房用ダクト等破損、受水槽配管破損
花巻市	116	5	22,859	天井材落下、浄化槽破損、屋根瓦破損
遠野市	27	2	6,018	ガラス破損、汚水管破損
北上市	43	12	40,616	地盤沈下、壁に亀裂、天井材や壁の落下
西和賀町	20	0	0	
奥州市	103	24	109,696	天井材や照明器具落下、地面に亀裂、配管破損
金ヶ崎町	28	0	0	
一関市	107	38	643,004	天井材や壁や照明器具落下、地面に亀裂・沈下
平泉町	12	3	5,999	鉄骨ブレース変形、壁の亀裂・落下、地盤沈下
大船渡市	21	12	1,073,441	津波により全半壊、地盤沈下、エキスパンション破断
陸前高田市	21	7	3,040,276	津波により全壊
住田町	7	0	0	
釜石市	16	4	237,557	天井梁変形、天井材や壁落下、配管破損
大槌町	11	3	284,140	津波により全壊、散水施設やスタンド破損
宮古市	48	6	1,947,235	津波により全壊
山田町	28	4	414,944	津波により流失、がれき・土砂流入、備品等流失
岩泉町	16	0	0	
田野畑村	14	1	400,000	津波により流失
久慈市	47	1	20,173	グラウンド・管理棟浸水、電気設備破損
洋野町	28	1	43,820	津波により全壊
普代村	16	3	5,000	津波によりがれき・土砂流入、フェンス等流失
野田村	5	1	34,153	浸水により床損傷、外壁フェンス損傷
二戸市	28	0	0	
軽米町	18	0	0	
九戸村	12	1	567	軒天・ガラス破損
一戸町	11	0	0	
計	1,030	146	10,384,219	

2 教育関係の被害状況

1章

東日本大震災津波による被害状況

## 文化財の被害

文化財の被害は、内陸南部を中心とした地震による有形文化財等の破損等の被害と、沿岸部の津波による有形・無形文化財及び記念物等の流出・水損・破損が主なものであった。

内陸部では、地震により建造物の壁や天井のひび割れ等のほか、仏像等彫刻の転倒による破損が多くみられた。沿岸部では、津波による被害、特に陸前高田市において有形文化財（建造物）が完全に流失、博物館が屋根まで水没する等、甚大な被害となった。

県教育委員会では、各市町村教育委員会に対し、東日本大震災津波による文化財被災状況調査を行い（平成23年6月3日付け）、その調査結果を平成23年6月30日現在でまとめた。その後の情報含む平成25年3月31日現在の状況は以下のとおり。

【文化財の被害状況は P261 に掲載】

### 特に甚大な被災

国指定等	名勝「高田松原」マツ1本を残して流出
	登録有形文化財「酔仙酒造」全壊・流出
県指定	登録有形民俗文化財「陸前高田の漁撈用具」水損・破損、一部流出
	有形文化財（建造物）「吉田家住宅」全壊・流出
市町村指定	有形文化財（古文書）「吉田家文書」水損、一部流出
	陸前高田市立博物館で展示中の有形文化財が破損・流出
	陸前高田市、大船渡市、釜石市等の無形民俗文化財の道具流出
	大槌町の有形文化財及び無形民俗文化財衣装等が津波及びその後発生した火災により消失



陸前高田市立博物館の施設内(平成23年4月21日)  
岩手県立博物館提供

### 被災文化財の市町村別件数 平成25年3月末現在

市町村名	国指定等	県指定	市町村指定	計
盛岡市	13	1	1	15
八幡平市				0
栗石町	1			1
葛巻町				0
岩手町				0
滝沢村				0
紫波町			2	2
矢巾町			1	1
花巻市	2	1	2	5
遠野市	2			2
北上市	3		8	11
西和賀町				0
奥州市	6	5	2	13
金ヶ崎町	1		1	2
一関市	24	3	14	41
平泉町	2	4		6
大船渡市	1	2	7	10
陸前高田市	6	4	10	20
住田町		3	1	4
釜石市	1		8	9
大槌町			12	12
宮古市	2	1	3	6
山田町		3	1	4
岩泉町				0
田野畑村				0
久慈市				0
洋野町				0
普代村		1		1
野田村				0
二戸市			1	1
軽米町				0
九戸村				0
一戸町				0
計	64	28	74	166



高田松原の奇跡の一本松(陸前高田市／平成23年10月4日)

